つづる

私たちは、歌や文章を書くことを、綴る（つづる）ともいう。「綴」という字には、糸で布などをつなぎ合わせるという意味があるから、文字と文字をつなぐということなのだろう。調べてみると、つくりの「叕」は糸を模した象形で、それだけでもう、つなぐという意を成しているらしい。糸で、と敢えて糸へんをつけるくらいの意志で、私たちは文字をつないでいる。

今回のテーマは「文字」。文字について綴った歌を折本というちいさな本にしました。綴じ糸は「綴」の文字です。(J)

栢瑚五行歌部（かしこ） https://www.kashiko.co/

栢瑚の五行歌折本

2026.8.29 発行　ぺらふぇす２０２６参加作品 @KGogyoka

栢瑚の五行歌集

君の頁に
僕の痕跡が
残るなら
余白に
青く掠れた文字で

南野蕾子

拝啓
から始まる
想いを
最後に綴ったのは
いつだろう

水源カエデ

夫
という言葉には
愛しい
という枕詞がついている
見えないけれど

白夜

渡しそこねた
手紙の文字を
天井に
浮かべた
プラネタリウム

水源純

南野蕾子 五行歌集
『硝子離宮』
新書判 770 円

水源カエデ 五行歌集
『承認欲求』
新書判 880 円

白夜 五行歌集
『序章』
A5 判 1,694 円

水源純 五行歌集
『まだ知らない青』
新書判 880 円

Shoko

「錆びついたメトロノーム」
歌詞の意味がわかったのは
三十年後
脳裡に
幻の打鍵音

手書きが
汚すぎて
デジタル化を
進めた
新入社員

Kaede

その先に
何があるというのか
夫は
まっすぐな
墨を刈（か）く

Saya

一とういう文字になったひとつにつなぐ
少しの間
○というう文字になったうとしした
哀しみの間

Jun

言論の自由を
奪う
独裁者が
表現を
語るな？

Kaede

仄かな青を
拾い集める
いつか
ちぎれた綴る
ノンブルになるから

Saya

口にすれば
敢えて
文字にする
あいしてる
言いもいない事

白い便箋に
深緑のインクで
したためる手紙
君の瞳が文字をたどりゆくとき
思い浮かべて

Jun

Shoko

栢瑚五行歌部は、日夜、南野蕾子、水源カエデ、水源純の四人で活動している文芸サークルです